

# 倉敷 大原家所蔵品展



暮らしを彩る濱田庄司・河井寛次郎・棟方志功

2012年10月27日[土] — 11月25日[日]

会場／内容：喜多方蔵の里／大原家所蔵品展（濱田庄司・河井寛次郎）  
甲斐本家蔵座敷／大原家所蔵品展（濱田庄司・河井寛次郎・棟方志功）  
大和川酒蔵北方風土館／倉敷・会津の現代工芸展

11月25日(日) 16:00～17:00

記念講演会：「倉敷と大原美術館」 講師 大原謙一郎氏（大原美術館理事長）  
会場：大和川酒蔵北方風土館昭和蔵

# 倉敷 大原家所蔵品展 暮らしを彩る 濱田庄司・河井寛次郎・棟方志功



濱田庄司《赤絵替盃》



濱田庄司《柿軸描黒取皿》



河井寛次郎《三色軸扁壺》

西日本を代表する蔵のまちと言えば岡山県の倉敷。倉敷と言えば大原美術館。蔵の街並みが美しい美観地区と大原美術館を両輪に倉敷のまちづくりは進められて来ました。現在は日本を代表する観光地と言っても過言ではありません。

大原美術館は世界的な近代洋画のコレクションに加え、柳宗悦が提唱した「用の美」「真の美」に基づく濱田庄司や河井寛次郎らの優れたコレクションも充実しています。

また、近年はアートによる倉敷のまちづくりと発信を積極的に進め、新進気鋭のアーティストを積極的に倉敷に招聘し表現活動の場を提供し才能を伸ばすことで、倉敷はアートの発信地としてさらに輝きを増しています。

このような、手仕事の再評価と復権、アートによる地域ブランドの発信は、東電原発事故後の福島再生に欠かせない視点です。

大原美術館の創設者大原家の蔵品を通して暮らしを彩る手仕事の美を味わい、大原家と大原美術館、そして今も続く文化によるまちづくりの先進事例に学び、現代における手仕事の復権と喜多方のまちづくりを考えます。

2012年10月27日(土) — 11月25日(日)

会場/内容：喜多方蔵の里/大原家所蔵品展（濱田庄司・河井寛次郎）

甲斐本家蔵座敷/大原家所蔵品展（濱田庄司・河井寛次郎・棟方志功）

大和川酒蔵北方風土館/倉敷・会津の現代工芸展

石川 昌浩(ガラス)・伊勢崎 紳(備前焼)・一重 孔希(陶器一重陶房)

倉敷本染手織研究所・瀧山 雄一(倉敷緞通)・武内 真木(陶器)

富樫 孝男(会津漆器)・仁城 義勝(木の器)・星 栄一(アケビツル細工)

三宅松三郎商店(花菓座)・宗像 利浩(陶器会津本郷焼)・吉田 徹(会津漆器)

11月25日(日) 16:00~17:00

記念講演会：「倉敷と大原美術館」 講師 大原謙一郎氏(大原美術館理事長)

会場：大和川酒蔵北方風土館昭和蔵

料金：共通券(500円)発売予定。一館のみ御観覧の方は各館の入場料が必要です。

## 甲斐本家蔵座敷

福島県喜多方市一丁目 4611

tel:0241-22-0001

開館時間未定

## 喜多方蔵の里

福島県喜多方市押切二丁目 109

tel:0241-22-6592

開館 9:00 入館 16:30 まで 閉館 17:00

## 大和川酒蔵北方風土館

福島県喜多方市寺町 4761

tel:0241-22-2233

開館 9:00 入館 16:30 まで 閉館 17:00

## ほまれ酒造(講演会場)

福島県喜多方市松山町村松字常盤町 2706

tel:0241-22-5155



関連事業：福島藝術計画 × A S T T「までの心プロジェクトII」までの心による地域作りプロジェクト part1

## シンポジウム までの心手仕事—〈ものづくり〉と〈てわざ〉による福島復興—

喜多方セッション「文化によるまちづくり 倉敷・喜多方～蔵の街のまちづくり～」

日時：10月27日(日) 13:30~15:00(予定)

会場：ほまれ酒造 雲嶺庵

基調講演：「倉敷・児島虎次郎」柳沢秀行(大原美術館学芸課長)

報告：「喜多方の蔵に何を入れるか」金親丈史(まちづくり喜多方研究員)「農閑工芸プロジェクト」宮原克人(筑波大学芸術学系講師)

主催：福島県・東京都歴史文化財団・特定非営利活動法人NPO西会津ローカルフレンズ・いたてまでの会